

## 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 《呼吸器内科地域連携パスについてご案内》

西部病院 呼吸器内科では、かかりつけ医との共同診療で患者さまの治療を円滑に行うために地域連携パスを使用しております。今回は、西部病院での定期検査と医師の診断を受けていただく時期にあたり、受診予約の方法などを以下にご案内致します。

### 1 患者さまにご持参いただくもの

- (1)「COPD(シーオーピーディー)地域連携パス」または「喘息 地域連携パス」
- (2) 呼吸器内科担当医宛の「紹介状(診療情報提供書)」
- (3) 当院の診療券 (IDカード)
- (4) 健康保険証など

### 2 予約方法について

電話での予約受付となります。受付時間は平日(月～金)の9時～14時です。

※(土曜日、日曜日、祝日、年末年始などの当院の休診日は受付していません。)

ご予約の際には、上記の《患者さまにご持参いただくもの》のうち(1)～(3)をお手元にご用意のうえ、お電話くださいますようお願い致します。

#### [予約手順]

- (1) 西部病院へお電話され【045-366-1111】、「患者支援センター 地域医療連携担当」を呼び出してください。
- (2) 「COPD(シーオーピーディー)地域連携パス」または、「喘息 地域連携パス」の、  
予約とお伝えください。
- (3) 予約日時については、
  - ①「COPD 地域連携パス」は、【1回目の受診日】と【2回目の受診日】の予約をお取りします。その場で、ご都合が悪い日にちをお聞きして一旦電話を切らせていただき、各検査の予約を調整後に、あらためて予約日時をご連絡致します。
  - ②「喘息 地域連携パス」は、原則その場で予約日時の受付を行います。  
なお、他の疾患を合併している等の患者さまは、検査項目によっては予約を調整後に、あらためて予約日時をご連絡させていただく場合があります。

### 3 当日の受付手続きなど

#### 【受付場所】

予約時間までに「総合案内」(正面玄関をに入って左手)へお越しください。

※なお、やむを得ず来院できない場合は、速やかにご連絡ください。

【連絡先】患者支援センター 地域医療連携担当 電話番号:045-366-1111  
(当院の休診日を除く、平日(月～金)の8時30分～17時)

**4 実施する検査・診察について**

(1) 「COPD 地域連携パス」については、以下の予定で行います。

**◆【1回目の受診日】**

- ①血液検査（採血）
- ②胸部X線単純検査（レントゲン撮影）
- ③胸部CT検査（コンピューター断層撮影）
- ④心電図検査
- ⑤心臓超音波図検査（心エコー図）
- ⑥呼吸機能検査
- ⑦栄養相談
- ⑧医師の診察（検査前もしくは終了後）

**◆【2回目の受診日】（【1回目の受診日】より7日～10日後に予定）**

- ①呼吸リハビリ検査
- ②医師の診察（検査前もしくは終了後）

(2) 「喘息 地域連携パス」については、以下の予定で行います。

※なお、他の疾患を合併している等の患者さまは、下記以外の検査を行う場合があります。

- ①血液検査
- ②胸部X線単純検査（レントゲン撮影）
- ③気道可逆性試験（呼吸機能検査）
- ④医師の診察（検査が全て終了後）

**5 当日の注意事項など**

- (1) 当日は1頁の《患者さまにご持参いただくもの》(1)～(4)を、お忘れなくご持参ください。
- (2) ご高齢の方などで介助を必要とする患者さまの場合は、当日はご家族の方等が付き添えるようにご配慮ください。
- (3) 検査当日は通常どおり食事をしても差し支えありませんが、血液検査の結果に影響を与える場合がありますので、できれば予約時間の2時間前までにお済ませください。
- (4) 上半身を脱いで行う検査や足首に電極を付けて行う測定があります。着替えのしやすい服装でお越しいただき、足首がすぐに出せるようにタイツ、ストッキングは履かないで下さい。

- (5) 検査室が混雑している場合は、長くお待ちいただくことがありますので、ご了承ください。
- (6) 気分が悪いなどがございましたら、病院職員に遠慮なく声を掛けてください。

## 6 その他

### <胸部CT検査(コンピューター断層撮影)とは>

レントゲン検査の一部で、コンピューター処理による胸部の断層写真を撮る検査です。肺や気管支などの様々な病変の発見、診断、経過観察が目的です。

### <心臓超音波図検査(心エコー図)とは>

- ・心臓のどの部分に異常があるか超音波を使って観察する検査です。
- ・検査の実施は検査技師が担当して、次のように行います。

- 1) 上半身を脱いでいただき、ベッドの上に横になって行います。
- 2) 胸に超音波の端子を当て、心臓の影を描出して多方向から観察していきます。
- 3) 検査にかかる時間は患者さまによって異なりますが、概ね30分程度です。
- 4) 患者さまの体格、肺疾患の有無により心臓の描出が困難となり、超音波検査ではほとんど評価できないこともあります。



### <呼吸機能検査とは>

- ・呼吸時の呼気量と吸気量を測定し、呼吸の能力を調べる検査です。
- ・検査項目によっては、器具を口にくわえて鼻をつまんだ状態で大きな呼吸や強く息を吐いていただきます。
- ・検査項目の多い患者さまは、検査時間が30分以上かかる場合があります。
- ・検査項目には次のような検査があります。

#### 1) 肺活量測定

肺の大きさを調べます。

#### 2) 努力性肺活量測定

どれだけ勢いよく吐けるかを調べます。

### 3) 気道可逆性試験

気管支拡張剤（呼吸を楽にする霧状の薬）を吸っていただき、その前後での気道の変化について、測定を行い評価します。

### 4) 機能的残気量測定

吐き出せない息の量がどのくらいあるかを調べます。

### 5) 肺拡散能測定

酸素がどれだけ体に取り込まれやすいかを調べます。

### 6) クロージングボリューム測定

肺の中で酸素の入れ替わりにくいところを調べます。



## <呼吸リハビリ検査>

呼吸運動にかかわる次のような検査を行います。

### 1) 時間内歩行試験

一定の時間内（6分間）にどれだけの距離を歩行できるかを評価する検査です。実施の際には、経皮的酸素飽和度や脈拍ならびに息切れの程度を確認します。

### 2) 階段昇段試験

階段（地下1階から地上1階）を上がっていただき、どれだけの時間を要したかを評価します。

### 3) 下肢筋力検査

歩行や階段昇降などの動作を困難とする原因の一つに下肢の筋力（膝を伸ばす力など）の低下があげられます。この筋力がどの程度かを確認します。

## <栄養相談>

栄養状態の評価のため、次の項目を行います。

### 1) 細胞外体液測定

体組成測定器を用いて筋肉量、体脂肪量、基礎代謝量などを測定します。

### 2) 栄養相談

食生活を聞き取り、普段の食事内容を確認します。

適切な食事の摂り方についてお話しします。

平成29年5月  
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院  
患者支援センター 地域連携担当